

刊夕 日四十月七



日刊 昭和三十四年七月十五日
第一版 第二版 第三版 第四版
発行所 平野新聞社
〒210 平野町
電話 二二二二
代印 平野新聞社
〒210 平野町
電話 二二二二

石城産の洋種茶種 假標準査定に當選

一等は平市平窪の鈴木一久 二等は夏井の鶴沼彦十

本縣に於ける本年度の洋種茶種假標準査定会は最近縣農産物検査中村支所に演習各支所長、出張所主任及び若松支所長並びに本所からの草薙、菅野兩技手を會する嚴選によつて決定した、右に對する平支所管内(石城産)よりの候補品は十八點で一、二、三等共に石城産が當選した此の提出品は
一等平市平窪鈴木一久 二
等夏井村鶴沼彦十 三等勿來出張所管内の植田産
で来る二十一日農林省に開催される東北の茶種検査標準協定會へ出品することになつたが標準に推されること石城茶種の優良は云ふ迄もなく全國的の各地産に較ぶれば殆んど愛知物と同格で時價一俵十三圓台(北海物は十三圓八十錢)而して本縣の茶種の産高は大休一萬石で石城では二十石を産してゐる取引は本月二十日以降と見られてゐる

自慢にはならぬが 縣下一の犯罪件數

平署の檢舉一八二〇送致七〇四
檢視一四七件は優中の優

平署に於ける十三年の犯罪檢舉件數は一八二〇件(内管外二二、縣外四一)で窃盜の七九九、賭博の八〇、傷害八一何れも縣下に優たるもの此の送致件數は七〇四(告訴七一を含めて)を算し公務員の犯罪は他に比して少なく横領六件に止まり檢視に於ては各署の總數一〇三八件の中平署が一四七件で福島六〇、若松の五八、植田及び喜多方の各五七とは比較ならず、まさしく縣下第一と云ふところに處つてゐる

濱通中等校の 剣道大會

本縣濱通りに於ける中等校の剣道大會は明後十六日午前九時から双葉中學道場に開催され双葉、相馬、磐城三中學の外平商業、相馬農藝校の各選

奉安殿起工式

江名小學校で
石城郡江名町小學校の奉安殿建設は既報の如く三千六百圓の工費で計畫されてゐたが今十四日午前十時起工式を舉行した

各神社の例祭

平市内各神社の例祭は夏季の宵祭に涼をとりながらの參詣者も加はり既に執行の各社祭何れも賑はひを呈したが今十

慰問袋

平市の
今日約四百個
平市では市内各所につくられてゐる第一線への慰問袋を今十四日市役所に取まとめたが銃後の赤誠は約四百個に上る見込みである

戰地の便り

此ま、大地に止り
適業に活躍したい

〔1〕 平市大町出身 鈴木 茂

拜啓、縁蔭うつす祖國の山河が一入なつかしきまします皆様との親交時が夢のやうに浮びます、旗の波に固き信念を誓ひながら故郷を後にして既に十ヶ月北支轉戦以來峰から峰へ峻険を征服しつゝ早くも七ヶ月に及びました、日毎に新占領地

小名濱商港の 二期工事運動

資金一萬圓にて
小名濱町では第一期工事を終つた商港に未だ不十分なものがある爲め第二期工事三百萬圓の施行方を見よ五ヶ年計畫で達成する様運動中であるが同運動資金一萬圓を地元にて五ヶ年負担の五ヶ年計畫を寄附にまつべく其の豫定見込みを常務各炭礦、同町日本水産、品川白煉瓦、磐城セメント各會社より仰ぐことにして

満支の視察から

六月二十九日 快晴
本縣歸社 關内正一氏

式商業區)ナハロフカ(貧民街)に、台地は新市街(官衙區)住宅區、舊ハルビンに大別されて居る。ハルビンは誕生以來約四十年に垂んとして今や北滿に於ける行政、軍事、經濟、交通の最重要地點である、然しながら佳木斯、牡丹江を猪突猛進の青年期とするならばハルビンは正に壯年期を越し老年期に入らんとする街の感がある。純ロシア風の

農銀支店長 副支配に昇進

引續き平に在職
縣農工銀行平支店長菅保平氏は昨十三日付で主事から副支

青沼平市長 勳四等に叙さる

平市長青沼平太郎氏は今回勳四等に叙せられ今十四日午前

赤堀信平氏 文展審査員に

平市出身の彫刻家赤堀信平氏は帝展時代からの入選連続で無審査出品に上げられ郷土に於ても此上なき名譽に數えてゐたが今回文展審査員に推され昨十三日辭令を受けた同氏は美術學校卒業後本邦彫刻界の權威朝倉文夫氏に師事し今日に至つたものである

飼料合理化の 講演會

大豆粕の各利用
縣農會主催、縣産馬畜産組合縣養豚組合、縣養鶏組合各聯合會後援の「飼料合理化講演會」は来る二十七日午前八時から相馬農藝學校に於て開催される講師は左記の如く演題は「豚の飼料節減と大豆粕の利用」馬に對する大豆粕の飼料化と肥効に就いて「養鶏飼料としての大豆粕」等である

火防組合で献金

平市自衛隊の火防組合では金十圓也を陸軍軍兵部に献金す

文魁文堂

一本金五拾錢以上
十數種
シャープペンシル
品ホシエスを御指名願
上げます。
御禮物としては立派な
化粧箱を用意して御座
います。

赤堀信平氏 文展審査員に

平市出身の彫刻家赤堀信平氏は帝展時代からの入選連続で無審査出品に上げられ郷土に於ても此上なき名譽に數えてゐたが今回文展審査員に推され昨十三日辭令を受けた同氏は美術學校卒業後本邦彫刻界の權威朝倉文夫氏に師事し今日に至つたものである

十時縣廳に於て舉行される勳章傳送式に參列した

雲ふ驚き方、同病院は滿洲各地に散在する青少年義勇軍醫務の總本部である、目下各地よりの患者百五十名ほど入院加療中、大河内氏は同病院の外科部長である時々匪賊出沒の義勇軍軍營地に軍醫衛の下に出張するといふ。同所に友人佐々木君が居た、彼等青少年は純然たる移民ではないのである、國策の命により郷里で後に異郷に活躍する戦士である、従つてこれら國家意識を以て敬呼の聲に送られたる青少年義勇軍に對して日本内地の人達即ち指導的立場からの慰問の方法を講ずべきではないかと思ふ。



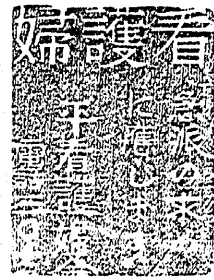
創始以来の 寒天の高値

米國では動脈硬化の特効薬にして

しかし寒天輸出が絶えて困つたのはむしろ支那商人で「一度台湾へ送つてくれ當方では日本品でない台湾品だと云ふことまで賣るから」とのことです。今事變前まで抜け道を通つて送り込まれてゐたが、今事變により治安回復地から直取引は益々増加し再び支那が日本寒天の相場を支配しようとする傾向さへ見せてゐる。

次に米國輸出が數年來俄かに増加しつゝあるので業者も寒天原料にだけにしては多すぎると調査をすゝめたところ大部が採用にされてゐることとが判明、それも全く生の寒天を粉末にしただけで混ぜものなしで動脈硬化の特効薬、副作用の心配はない緩下劑として非常な賣れ行きを示し我が國へも逆輸入されてゐると聞えて業者何れも嘔然たる有様であつた。最近も寒天用寒天粉末三萬キロ(約六千六百箱)價格六萬圓の大量注文があつたが在庫簿のため逆に需要をみたし得なかつた事實がある。純白の寒天に交つて眞赤に染められた寒天を見うけるがこれは大半南洋輸出向で一時南洋との直取引は杜絶してゐたところ土人も眞赤な寒天を水に浸したまゝでジャブ、煩張る醜味を忘れかねたと見えて最近では従前にも増して需要がありこちらの寒天街も大ホク／＼であるが製造期

を終つて僅か四ヶ月余、大半の工場に就拂ひ品簿で相場を高騰させ一等品角天一箱百五十四、細天百斤三百九十四と云ふ事變前に比し角天卅圓、細天百圓の大巾な値上りを唱へてゐる(終り)



肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

お醤油は

醤油、味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命製城代理店

山崎與三郎

山崎合名會社

電話 本業部一〇番
店部二七番

諸妻下りの大妙藥

安流丸

持約 山野通藥局

門 專
性泌尿器科
皮膚科
性病科

診療時間 午前八時より
午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九二番

院醫尻江

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 病室完備

木村病院

平市新川町九一 電話一六四番

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町 電話三六九番

高橋屋

質高、價廉

電話五九二番

電話五九二番

に變りました

レストリサロ

平市銀座街

帝國海上保險株式會社

火災、水災、海上

平代理店 關内正一

事務取扱者 阿部助次郎

平市二丁目 電話二六番

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し
内科、小兒科の診療に従事せしむ

平病院

(平市元共濟病院跡)
電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

副院長 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸
副院長 土井利明

内科 院長 鈴木定藏
外科 院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)

涼味そゝる

夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子
可愛らしいお子様帽子
婦人・子供用涼着
その他色々陳列

つるや

平 四
電 140

平田町(三丁目裏川岸通)

明雪堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

一般印物もお引受致します

新しいわき新聞社